

【表紙】

【表紙裏】

【1頁】

膺懲の聖戦 全三卷

梗概・▽・あく迄暴戻なる支那の侮日抗排日に対して、敢然立って膺懲の火蓋を切った皇軍の北支及び南支に於ける勇猛果敢なる活躍の實況を編輯せるものなり

【1頁、上段】

字幕

1. 日支事変第一輯

2. 膺懲の聖戦

3. 撮影 田畑 雅

丸山 四郎

木村 辺

林田 重雄

太田 芳太郎

4. 監修 真名子兵太

編輯 曾根 特博

(1)

【1頁、下段】

音

1. 音楽

↓

【2頁、上段】

録音 近藤健郎

線画 前田 一

5. 製作 朝日新聞社

6. 毎日

7. 排日

8. 抗日

9. 七月七日

10. (地図) 北平・豊台

盧溝橋

11. 支那兵の不法射撃

12. 事件不拡大力針のをとに

吾軍嚴重警戒

【2頁、下段】

2. 硝子の破壊する音

3. (アナウンス)

日支縮携に依つて東亜の平和を維持し共存共栄の實をあげんと努力する吾が帝国のあく迄金明正大な態度に反し暴戾なる支那は容共抗日即ち陰に陽に赤色ソビエトと手を握り不法にも全国民をかかつて毎日排日抗日へと追ひやりこれを以て無秩序極まる国内を統一する□具に供するに至りました。

4. (アナウンス)

吾々は緩遠、西安の兩事変に示された如何に反満抗日の激情が支那大衆の心底深く浸透してゐるかを見逃してはなりません。国民党と中国共産党との妥協に依つて一切の抗日運動が共産党の指導する所となり政治の主導力が共産党によつて□□れてゐることも忘れてはなりません。

5. 音楽 小銃の音

6. (アナウンス)

全支の事態かくの如き折も折□に七月七日夜たまく盧溝橋付近に於て夜間演習中の吾が豊台部隊に対し突如廿九軍より数十発の不法射撃をあげせ□忍にとを和平の□に解決せんと欲する吾軍は一つも之に応戦せず兵力を集結して天明を待ち交渉を開始せんと致しました。支那側の不法射撃止まず遂に交戦するの止むなきに至りしかも吾軍は直ちに現地に調停委員を派遣して事變の拡大阻止に努め一部のみを前方に残して盧溝橋を撤収支那側の約諾を嚴重監視したのであります。

【3頁、上段】

13. 支那は破約に次ぐ破約

14. 皇軍遂に膺懲決意

15. 皇軍は忽ちにして各地を占拠

16. (地図) 北平・豊台・盧溝橋・宛平

17. 宛平

18. 廢墟と化した宛平京城

19. 支那軍の撤退列車

20. 然しそれも欺満

(2)

【3頁、下段】

然るに支那側は一片の誠意すら元さず盧溝橋一帯に有力部隊を駐屯せしめ再三再四に互し少数の吾が部隊に対して不法発砲を敢てし益と挑戦的□□努を□り吾が方をして断乎膺懲の決意をなすの止むなきに至らしめました。

7. 音楽

8. 大砲 機関銃 爆破 汽車の音

↓

9. (アナウンス)

吾が天津駐屯軍に依つて断乎下された鉄槌にさしも暴慢不遜を極めた支那側は周章狼狽、直ちに人を派して支那軍の現地撤退廿九軍の陳謝等含んだ松井、秦徳純協定を誓か、更に冀察政務委員會委員長であり第廿九軍長を兼ねた宋哲元は天津偕行□に香月軍司令官を訪問表心より陳謝最短期間に協定の実行を約□吾軍監視の檻に北支の明朗化をはかる現地解決の第一歩は踏み出すかと見えました。

第一巻終り

【4頁、上段】

第二巻

1. (地図) 北平・豊台・盧溝橋・宛平
2. 豊台
3. (地図) 郎坊・北平・天津・通内
4. 郎坊
5. 豊台ヨリ救援隊出動
6. 支那軍は各地に撃殺せられたが
7. 蒋介石は徹底的抗日を表明
8. 我が政府は
9. 肅大決意を中外に声明した
10. (地図) 通州北平

【4頁、下段】

1. 音楽
2. 大砲・爆破・銃声・機関銃の音

3. (アナウンス)

堂々膺懲の軍を進める精鋭無比な皇軍の猛攻撃に色を失った蒋介石は緊急会議に基き長期抗戦を決意全軍の出動を命令し事態は愈々重大性を加えるに至りました。
一方帝国政府に於ても土目首相官邸に近衛首相・廣田外相・杵山隆相・米内海相・賀屋蔵相の五相会議を開催して政府の根本方針を凝議引いて緊急閣議を開き、支那側に反省を促すため自衛権発動に基き、北支出動兵を決定奉国一致処理を申合はせ近衛首相より上奉御裁下を仰いだ後派兵の主旨を中外に声明、南京政府へは日高参事官をして此皆を通達せしめ支那側の度重なる毎日、抗日に依つて歪めに歪められた日支両国間の関係を徹底的に是正すべき不動の決意を確立致しました。

4. 音楽
5. 子供の泣き声

【5頁、上段】

1. 1. 惨虐の限りをつくした通州事件

第三卷

1. (地図) 天津・北平・大站・通内・郎坊
 2. 天津
 3. 支那の批戦に応じ皇軍空陸より撃破
 4. 北支に黎明の曙
- (3)

【5頁、下段】

6 (アナウンス)

勇猛果敢な吾が軍の連戦連捷の影にかくれて突如伝えられた通州の日本人虐殺事件は吾が朝夜をして往年の惨虐極まる□□事件を思ひ起させ鬼畜にも劣る支那人の暴虐行為に對し痛憤やるかたなく救援隊によつて占領された通州場内惨虐の跡は鬼哭□々として肌寒く信頼し、切った保安隊に依つて無惨にも惨虐された二百余の邦人はどれだけの怨みを残して通州の露と消えた事でありませうか、これを思ふ時今回の事件は徹底的膺懲の實をあげるにあらざれば絶対に中止することは出来ぬのであります

第二卷終り

1. 音楽

2. 爆音 機関銃 砲声 火陷の音
3. (アナウンス)
二十九日未明吾が軍の手薄に乗じて天津を襲撃し束った支那軍は日本租界の一端より一挙に吾が中心地区に押し入らんと試み、こゝに壯絶を極めた市街戦は展開し越えて三十日吾が空軍は排日の根拠地南開大学及び支那街の重要建築物に□居する二十九軍並に保安隊に対し爆撃を敢行し完膚なき迄に之を殲滅こゝに殆んど全く平□地方の治安を快復するに至りました。
4. 音楽

【6頁、上段】

5. 天津治安維持会成立
6. 北平では
7. 不□支那兵の武装解除
8. 歩□堂々皇軍此□入城

【6頁、下段】

5. (アナウンス)
国民の苦痛も顧みぬ暴戻な抗日によって端を發し吾が皇軍の出動に依って復興を見た天津府の治安維持の大臣を負つて高凌中尉氏を委員長に誕生した。天津治安維持会は八月一日成立市商会に於て事務を開始致しましたが吾が駐屯軍司令官香月中□は難民校恤資金として十九萬元、治安維持に協力した巡警に一萬元を寄贈。動揺せる支那民衆に多大の感銘を与へました
6. 音楽

7. (アナウンス)

我敵の掃蕩敗残兵の武装解除に依って漸く平和な姿に立ち返った。王城の池、北京に於ても治安維持會が結成され、百五十万市民の衆望を狙つて主席に推された江朝宋氏他各委員は治安完成に専念こゝに平軍の治安は支那側の希望により日本側各機関と協力。堅實な歩みをつゞけるに至りました。

8. 音楽

9. 行進ラクパ・歓声・馬蹄雑音

10. (アナウンス)

酷熱の戦野に奮戦三□赫々の武勲を立てた、こゝ北支の治安を恢復した吾が皇軍部隊は小雨そぼ降る八月八日歩武堂々北平に入城不安の□日かの復無敵皇軍を迎えた在留邦人は感極まつて万歳を絶叫し転戦又転戦真黒に陽に焼けた将士の目にもキラリ感激の涙が光りました

【7頁、上段】

9. □□を□ふ中央軍を各地に撃破

10. (地図) 南口・北平・清河鎮・沙河鎮

11. 南口

12. 膺懲の聖戦 終

【7頁、下段】

11. 音楽

12. 大砲 機関銃 爆音 万万四唱 爆破の音

13. (アナウンス)

壊滅した廿九軍を救援し平津地方を奪回せんため続々北上した中央軍の精銳部隊は北平の背面南口に進出し、吾が復方攪乱を企図致しましたが吾が挺身隊は空軍援護の下に壯烈

な山岳戦を展開しつゝ之を圧迫平漠線津浦線両沿線と相呼應し浮足たつた敵軍を次々に撃破して長城線一帯を確保し□々たる山嶽に編□と日章旗をひるがへしました。

14. 音楽

↓

完

【データ採録者…三浦雅美】【校正…森田健嗣】